



夏の広場の噴水で遊ぶ子供たち



秋の広場の紅葉風景



市の木ナカマドを描いた平板ブロック

DATA・BOARD②

- ①北海道旭川市春光町1・2区1～11条
- ②延長：835m，幅員：43.64m
- ③広場，築山，噴水ほか
- ④白御影石，比布石，植栽ほか



2 いのうえ やしり 井上靖通り



「井上靖通り」は、旧陸軍兵舎間の防火策のため広い幅員となっていた境界道路の春光大通を生かして整備を行ったもので、旭川市出身の作家である井上靖の誕生地に近いことから通りの名称にしている。

歩行者、自転車、車の安全で快適な道路空間の創出を目標に、外側を車道、中心部を歩行者専用道路として整備を行い、歩道部分は整備区間を四つの広場に分けて、変わりゆく旭川の四季を植栽と舗装材の色で表現している。

川のまち旭川をイメージして、大雪山から流れ込む河川をモチーフにしたせせらぎ水路や噴水を設けた夏の広場をはじめ、子供たちがミニスキーやソリ遊びを楽しめるように築山を配した冬の広場など、それぞれの広場は市内の行事、子供たちの軽スポーツなど、地域コミュニティの場として活用されている。